



再使用禁止

Persona Revision Knee システム

【禁忌・禁止】

1. 禁忌 (次の患者には適用しないこと)
 - ・罹患関節に感染症の既往歴がある患者
 - ・感染症症状が認められる患者
 - ・骨量が不十分な患者
 - ・骨格が未成熟な患者
 - ・神経障害性関節症の患者
 - ・骨粗鬆症又は患部の症状を悪化させるおそれがある筋疾患又は神経疾患の患者
 - ・関節固定術を受け、通常の機能肢位において痛みのない状態の患者
 - ・側副靱帯の欠損により、重度の不安定性が認められる患者
 - ・皮膚潰瘍を伴う、又は再発性の皮膚破壊の既往を有する関節リウマチ (RA) 患者 [術後感染のリスクが高い]
 - ・ステロイドを使用している RA 患者 [遅発性の感染症が発現する危険性がある]
2. 禁止
 - ・弊社が指定した製品以外との併用はしないこと [相互作用の項参照]
 - ・再使用禁止
 - ・再滅菌禁止 [無菌性が担保できないため]

【形状・構造及び原理等】

本品は初回人工膝関節置換術又は人工膝関節再置換術に使用する関節機能再建のための人工膝関節システムであり、大腿骨コンポーネント、関節面サーフェイス、脛骨トレイ、大腿骨もしくは脛骨における支持性を高めるステムエクステンション、そして大腿骨もしくは脛骨欠損部の補綴に用いるオーギュメントから構成される。大腿骨コンポーネント及び脛骨トレイは必ずステムエクステンションと併用して使用する。なお、本品の固定方法は骨セメントを用いる間接固定である。

本添付文書に該当する製品の製品名、製品番号、サイズ等については、包装表示又は本体の記載を確認すること。

製品名	製品外観
PCCK セメントフェモラル	
PCCK VE サーフフェイス (PCCK サーフフェイスインサート) (PCCK ロッキングスクリュー)	
PCCK REVISION ティペア	
PERSONA REVISION テーパーシステム	
PERSONA REVISION スムースシステム	
PERSONA REVISION スプラインシステム (ストレート)	
PERSONA REVISION スプラインシステム (オフセット)	
PERSONA REVISION フェモラル オーギュメント チタン	
PERSONA REVISION ティペアル オーギュメント チタン	

材質:
コバルトクロム合金、ビタミン E 添加高架橋ポリエチレン、チタン合金

・併用医療機器

本品と併用可能な医療機器は以下のとおりである。

<大腿骨コンポーネント>

販売名	承認番号	構成品
Persona PS セメントシステム	22500BZX00384000	関節面サーフェイス 膝蓋骨コンポーネント
Persona Vivacit-E PS サーフフェイス&パテラ	22600BZX00188000	関節面サーフェイス 膝蓋骨コンポーネント
Persona Vivacit-E CPS サーフフェイス	22900BZX00022000	関節面サーフェイス
ジンマー人工膝関節(1)	16100BZY01064000	膝蓋骨コンポーネント

<関節面サーフェイス>

販売名	承認番号	構成品
Persona PS セメントシステム	22500BZX00384000	脛骨トレイ

<脛骨トレイ>

販売名	承認番号	構成品
Persona PS セメントシステム	22500BZX00384000	関節面サーフェイス
Persona Vivacit-E PS サーフフェイス&パテラ	22600BZX00188000	関節面サーフェイス
Persona Vivacit-E CPS サーフフェイス	22900BZX00022000	関節面サーフェイス

<ステムエクステンション及びオーギュメント>

販売名	承認番号	構成品
Persona PS セメントシステム	22500BZX00384000	脛骨トレイ

【使用目的又は効果】

本品は、関節リウマチ、変形性関節症、外傷等により、人工膝関節置換術を必要とする患者に対し使用する関節機能再建のための人工膝関節システムである。

【使用方法等】

- ・本品は滅菌品であるため、包装開封後、そのまま 1 回限り使用する。
- ・大腿骨コンポーネント及び脛骨トレイは必ずステムエクステンションを使用すること。
- ・使用に際しては、指定がある場合、専用手術用器械を使用すること。
- ・本品は骨セメントを用いる固定方法であるが、スプラインシステムを使用する場合は、press-fit であるため、骨セメントは用いない。

(使用方法例)

①大腿骨の準備

患部を皮切し、術前計画に基づいて大腿骨遠位端を切除し、大腿骨コンポーネントのサイズを決定する。次に、ステム挿入部を準備し、ボックスカットを行う。



②脛骨の準備

術前計画に基づいて脛骨近位端を切除し、脛骨トレイのサイズを決定する。次に、ステム挿入部及びキール挿入部を準備する。



手術手技書を必ずご参照ください

③膝蓋骨の準備

膝蓋骨の置換が必要な場合、膝蓋骨の厚さを計測し骨切りを行う。

④トライアルの設置

適切なサイズのトライアルを設置し、仮整復を行う。



⑤インプラントの設置

インプラントを組み立て、骨セメントを脛骨トレイ及び大腿骨コンポーネントに塗布し、インパクトを用いて固定する。関節面サーフェイスを脛骨トレイに設置し、サーフェイスロックングスクリューを締めて脛骨トレイに固定する。必要に応じて膝蓋骨コンポーネントを挿入し、縫合する。



【使用上の注意】

1. 使用上の注意(次の患者には慎重に適用すること)

- (1) 糖尿病等の代謝障害のある患者〔感染が発生し、患部の遅延治癒が発生しやすいため〕
- (2) ステロイド療法、免疫抑制剤等の全身薬物療法を受けている患者〔オステオポロシス等が進行し、術後骨折が発生しやすいため〕
- (3) う歯等の局所的な感染を有する患者〔局所感染部から患部に感染巣が移ることがあり、本品を適切に支持できないため〕
- (4) 患部に重度の変形のある患者〔矯正が十分できず、本品を適切に支持できないため〕
- (5) 患部に骨腫瘍がある患者〔本品を適切に支持できないため〕
- (6) 体重過多の患者〔本品に過度の負荷がかかり、マイグレーションや折損等が発生しやすいため〕
- (7) 肉体的労働、活動性の高い患者〔本品に過度の負荷がかかり、マイグレーションや折損等が発生しやすいため〕
- (8) 喫煙習慣のある患者〔治癒の遅延や、コンポーネントのルースニングの原因となるため〕
- (9) アルコール、麻薬中毒患者及び精神障害のある患者〔リハビリテーション等の術後管理が不十分になる可能性があるため〕
- (10) 他関節に障害のある患者〔本品に過度な負荷がかかるため〕
- (11) 下肢に障害がある等転倒の可能性が高い患者〔転倒により、破損、ルースニング、マイグレーションが発生しやすいため〕
- (12) 高齢者〔「高齢者への適用」の項を参照すること〕
- (13) 医師の指示を守ることのできない患者又は神経障害の患者〔リハビリテーション等の術後管理が不十分になる可能性があるため〕
- (14) オステオポロシス、骨質不良の患者〔本品を適切に支持できず、マイグレーションや術後骨折を起こしやすいため〕
- (15) 代謝障害を有する患者〔骨形成が阻害され、本品を適切に支持できないため〕
- (16) 骨軟化症の患者〔本品を適切に固定できないため〕
- (17) 遠位感染症を有する患者〔感染症を引き起こす可能性があるため〕
- (18) 急速な関節破壊、著しい骨量の減少や骨吸収が認められる患者〔本品を適切に支持できないため〕
- (19) 血管不全、筋萎縮症又は神経筋疾患を有する患者〔脱臼を起こしやすく、本品の安定性が得られないため〕

2. 重要な基本的注意

- (1) 人工膝関節は、患者の活動性や生体内における影響を受けるため耐用年数に限りがあることを患者に説明すること。
- (2) 本品は、患者の痛みを軽減し、関節機能を回復するが、健全な骨と関節組織のような活動レベルと負荷に耐えられないおそれがあるので、注意すること。
- (3) インプラントの選択、設置、ポジショニング、アライメントや固定が正しく行われない場合、異常な応力が発生し、インプラントの耐用年数が短くなるおそれがあるので注意すること。
- (4) 人工膝関節のマイグレーションやルースニングは、人工膝関節の再置換術が必要になることを患者に説明すること。
- (5) 人工膝関節摺動面が摩耗することにより、金属粉や超高分子量ポリエチレンの摩耗粉が発生し、マクロファージや線維芽細胞を含む組織と反応することがある。

- (6) スプラインシステムは press-fit 固定で用いるが、骨質が不十分で良好な初期固定が得られない場合は、スプラインシステムにも骨セメントを使用すること。
- (7) セメントレス固定の場合、術後 12 週間は患者の活動を制限し、膝関節に負担を与えるような極端な肢位は避けること。
- (8) 本品のサイズ選択は、各製品ラベルに表示されているサイズ、タイプ及び左右、添付文書及び手術手技書に記載されている製品適合表を照合することによって行うこと。互換性のない組み合わせでは、接触面の適合が得られず、疼痛、耐摩耗性の低下、コンポーネントの不安定、コンポーネント耐用年数の低下を来す可能性がある。
- (9) 関節面サーフェイスは、ロックングスクリュー(インサート及びスクリュー)を用いて脛骨トレイに固定すること。(PCCK のみ)
- (10) 脛骨トレイと大腿骨コンポーネントのセットスクリューは、システムエクステンションの二次的固定として使用すること。(PCCK のみ)
- (11) 大腿骨コンポーネント、脛骨トレイ、もしくはティビアルオーギュメントを使用する場合は、必ずシステムエクステンションと併用すること。
- (12) 本品の大腿骨コンポーネント又は脛骨トレイと「Persona CR セメントシステム」(22500BZX00385000) 及び「Persona Vivacit-E MC サーフェイス」(22800BZX00204000) の関節面サーフェイスを併用しないこと。又、本品の関節面サーフェイスと「Persona PS セメントシステム」(22500BZX00384000) 及び「Persona CR セメントシステム」(22500BZX00385000) の大腿骨コンポーネントを併用しないこと。
- (13) 脂肪塞栓のリスクは髄内用手術器械の使用及びセメント加圧により高まる。大腿骨及び脛骨の髄腔内容物の排出に配慮すること。
- (14) 両膝同時手術時に下肢止血体を緩める場合は、肺損傷を防ぐため片膝ごとに 10 分ずらして緩めること。
- (15) 本品使用の際には、専用の器械及びトライアルを使用すること。正確にインプラントを設置して軟部組織のバランスを確認し、膝関節機能を評価すること。
- (16) 非臨床試験によって、本品は ASTM F2503-13 に従い MR Conditional であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である「自己認証による」;
 - ・静磁場強度: 1.5T、3.0T
 - ・静磁場強度の勾配: 2500 Gauss/cm 又はそれ以下
 - ・MR 装置が示す全身最大 SAR (Specific Absorption Rate): 白蓋窩より上のスキヤンにおいては 2W/kg で 15 分、白蓋窩より下のスキヤンにおいては、0.5W/kg
 - ・Quadrature transmit モードのみ
 - ・RF による火傷用の保護パッドは、ボアの壁と四肢の間に配置すること。
 - ・膝の間にパッドを入れ、脚同士が触れないようにすること。
 - ・患者の腕や手が、互いに、又は肌等と触れないようにすること。2W/kg で 15 分のスキヤン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 4℃ 以下である。
本品が 3T の MR 装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から 8cm である。

3. 相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
他社製のインプラント	人工膝関節として正しく機能しないおそれがあるため、併用しないこと。	デザインコンセプトが異なるため、適切に固定されない。

4. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下のような不具合・有害事象が発生した場合には、直ちに適切な処置を行うこと。

(1) 重大な不具合

- ・変形
- ・破損
- ・折損
- ・脱転
- ・摩耗
- ・マイグレーション
- ・ルースニング
- ・腐食

(2) 重大な有害事象

- ・骨吸収
- ・オステオライシス
- ・軟部組織のインピンジメントもしくは軟部組織の損傷

手術手技書を必ずご参照ください

- ・脱臼
- ・関節不安定性
- ・インプラントのアライメント不良
- ・骨折
- ・神経損傷
- ・腫張
- ・感染症
- ・脚長差、下肢短縮
- ・関節可動域の減少
- ・遅延治癒
- ・一時的もしくは恒久的神経障害
- ・疼痛
- ・心血管障害(静脈血栓、肺塞栓、心筋梗塞)
- ・炎症
- ・金属アレルギー
- ・腐食
- ・血管損傷
- ・メタローシス
- ・滲出液
- ・塞栓
- ・血腫
- ・骨穿孔
- ・内反、外反変形
- ・膝蓋腱断裂
- ・異所性骨化
- ・関節周囲の石灰化
- ・浮腫

5. 高齢者への適用

- (1) 高齢者は、骨質が低下している場合が多く、術中に過度のリーミングやラスピング又本品を挿入する時に、骨折する可能性が高いので、慎重に使用すること。
- (2) 高齢者は、腎機能、肝機能等の生理機能が低下している場合が多いため、術前、術中、術後の全身管理に特に気をつけること。
- (3) 高齢者は、何らかの感染巣を有している場合が多く、遅発性感染防止のため、感染巣を完治してから、本品を使用すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児への適用

上記の患者に対して、安全性は確立されていないため、治療上の有益性が危険性を上回っている時のみ使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- ・常温、常湿にて保管すること。

有効期間

- ・外箱に記載した表示を参照[自己認証による]。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: ジンマー・バイオメット合同会社

電話番号: 03-6402-6600(代)

主たる設計を行う製造業者: Zimmer Inc.、米国

※本添付文書は予告なしに変更することがあります。